

## 平成20年度 第5回見沼区区民会議 議事録

日 時	平成20年9月25日（木） 18:30～20:30
会 場	見沼区役所 大会議室
出席者 (敬称略)	<p>&lt;委員&gt; 猪狩忠雄(異業種交流会WES21)、伊藤邦介(公募委員)、大川野英子(見沼区民生委員・児童委員協議会)、小野達二(NPO法人 自然観察さいたまフレンド)、合谷憲治(青少年育成さいたま市民会議 見沼区連絡会)、小島章次(さいたま市大宮文化協会)、小山静江(さいたま商工会議所)、白瀧康次(NPO法人 地域人ネットワーク)、桜井定夫(大宮医師会)、田口和子(さいたま市保健愛育会 見沼区支部)、田中秋弘(埼玉中央青年会議所)、中澤恒雄(公募委員)、長沼和子(公募委員)、中村とさ子(公募委員)、西尾真治(公募委員)、野崎初太郎(見沼区自治会連合会)、林一三子(まちづくり市民ネットワーク・さいたま 見沼区部会)、丸山深雪(さいたま市交通安全保護者の会(母の会)見沼支部)、宮本英典(さいたま市PTA協議会 見沼区連合会)、横田洋子(SSC見沼区スポーツクラブ)</p> <p>&lt;見沼区&gt; 浅見孝雄(区長)、安藤徳雄(副区長)、櫻沢健司(区民生活部長)、大澤成夫(健康福祉部長)</p> <p>&lt;事務局&gt; 中村友一(区民生活部コミュニティ課長)、金井利夫・長谷川彰・鈴木喜菜(区民生活部コミュニティ課)</p> <p>&lt;コンサルタント&gt; 安部邦昭(NPO法人都市づくりNPOさいたま)</p> <p>&lt;傍聴者&gt; 0名</p>
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 前回議事録の確認</li> <li>(2) 部会報告確認事項</li> </ol> </li> <li>3. その他</li> <li>4. 次回開催日程</li> <li>5. 閉会</li> </ol>
資 料	<p>資料1. 平成20年度 第4回見沼区区民会議 議事録案</p> <p>資料2. 第5回ふるさと発見てくたく見沼実施要領</p> <p>資料3. 見沼区生活安全標語ノミネート作品一覧</p> <p>資料4. ネットワーク部会報告</p> <p>資料5. 広報委員会報告</p>

以降は、委員の発言等に基づき、会議内容の骨子をまとめたものです。従って、会議の趣旨や発言の関連性に照らし、同様の意見の集約、発言順の編集等を行っています。

## ■委員委嘱

---

### ○木下毅委員の辞任

- ・木下毅委員が、一身上の理由により、辞任された。なお、木下委員は公募委員であり、残り任期も短いことから、欠員補充は行わないこととした。

## ■議事

---

### (1) 前回議事録の確認

特に変更無し。

### (2) 部会報告確認事項

#### [自然環境部会]

<部長より報告>

(てくてく見沼について)

※てくてく見沼の開催について、資料に基づき説明

- ・下見を9/27に予定。参加できる方は、ぜひ参加されたい。コース上の観察ポイントや、トイレの位置、危険箇所などをチェックする予定。
- ・委員の皆さんの、出欠の予定を伺いたい。

9/27下見：小野、田口、中村、(田中)

10/4本番：伊藤、白瀧、横田、田口、中澤、中村、小島、小野、盛

→さいたまスポーツクラブからも3~5名が参加の予定。

(見沼区のシンボルについて)

- ・先日、見沼区のシンボルについて発表を行ったところ、各紙の埼玉版に掲載された。

#### [生活安全部会]

<部長より報告>

(標語募集について)

- ・小学生の部－83通、中学生・一般の部－110通、合計193通の応募があった。このうち、公募は34通であった。
- ・実行委員会による事前の審査で、本日の資料にあるよう、各部門で10点まで絞った。この中から、各人5点を選んでいただきたい。

※参加委員による投票の結果、以下の作品が選ばれた。

○小学生の部

最優秀賞

- ・守ろうよ 地域の自然 君の手で
- ・登下校 いつも安心 地域が目

優秀賞

- ・つくろうよ みどりあふれる 見沼区を

- ・温暖化 救うもこわすも わたしたち
- ・見沼区は しぜんと森が たからもの

○中学生・一般の部

最優秀賞

- ・あいさつで 楽しい一日 始めよう
- ・最強の 防犯対策 地域の日

優秀賞

- ・守ろうよ 緑あふれる みんなの町
- ・待つゆとり ゆずるゆとりに 合図の笑顔
- ・広げよう 自然あふれる 見沼の輪

- ・賞状の文章、記念品等については、次回の部会（10/7）に決めたい。なお、最優秀賞の各2点は、看板となる予定。

### [ネットワーク部会]

<部長より報告>

※配布資料「ネットワーク部会資料」を参照

(拡大区民会議について)

- ・4時間に及ぶ長丁場だったが、大盛況であった。
- ・時間どおりに進めていただき、予定どおりに終了した。

(拡大区民会議のまとめについて)

- ・報告書(中間報告)の取りまとめを進めている。
- ・当日の議論の内容とご意見カードについて、「現状と課題」「提案」「区民会議としての今後の取り組み」の3つの視点からとりまとめる。
- ・区民会議としての今後の取り組みについては、①区民会議が直接取り組むこと、②区民会議が「つなぎ役」となって取り組むこと、③区政に政策提言すること、の3つの柱に分け、各部会で担当した分科会のとりのまとめをお願いしたい。
- ・以上の内容を、次回の全体会で確認し、見沼区ふれあいフェアのブースで発表したい。

(ニューイヤーコンサートについて)

- ・部会では、拡大区民会議とニューイヤーコンサートについて議論をした。
- ・ニューイヤーコンサートは、大宮武道館で開催する。
- ・現在、小島会長の協力を得て、出演交渉を行っている。演目としては、和風・洋風のそれぞれを楽しめる内容で検討している。
- ・12月に発行予定の区民会議だよりにて、コンサートの参加者募集記事を掲載の予定。締め切りに間に合うよう、準備を進めたい。

(質疑)

委員：拡大区民会議の報告に、現状と課題に、地域のつながりが薄れている、地域の現状が把握できていない、情報の共有がうまく図れていないとの課題が出てきた。

区政方針に書かれている「地区懇談会」は、どのような機会で開催されているのか？

事務局：地区懇談会は、地区毎に区長を囲んで話す場として開催されている。方法としては、事前に質問を集約し、これに回答するという形式で実施している。この中で、地域の課題、問題について、すぐに解決できるものは対応し、その他については、課題毎に計画や行政施策に反映するようにしている。実際の内容としては、インフラの問題、交通の問題、安全の問題、防災の問題について、区役所の認識を話す場となっている。

委員：拡大区民会議での参加者からの意見は、非常に貴重であった。各部会で得たものも沢山あったと思う。それぞれの部会で聞いた、感想や心に響いた意見などを、この場で共有したい。

委員：自然環境の分科会に参加したが、こうも真剣に参加し活動している人がいるということに感動した。課題としては、活動予算がないということが出ていた。今回参加したことで、課題と区民の皆さんのやる気を感じた。

事務局：区の発展を見据えた区民の皆さんとの議論は、区民会議の趣旨。せっかくの拡大区民会議の意見、区政への提案にぜひ活かして欲しい。

委員：参加者からの発言で、「水害の際に避難所まで行く途中が水没し避難できない」等の話もあり、新鮮な驚きがあったと思う。そういった気持ちを互いに共有したい。参加者も、普段の活動範囲だけではない意見を聞くことができたのではないかな。

委員：区民から意見を聞くという場として、地区懇談会というものがあるということを知らなかった。一方で、同じような目的で拡大区民会議を開いた。同じような目的で開かれた機会であり、地区懇談会での意見や事務局の返答内容を、区民会議にも教えてもらうことはできないか？今後、拡大区民会議のまとめを作成し、提言をまとめるためにも、有効な資料となると思う。

### [広報委員会]

<委員長より報告>

※配布資料「広報委員会報告」を参照

(活動報告)

- ・区民会議だより13号が配付された。
- ・ホームページに、拡大区民会議の開催速報を掲載した。まとめが終了したら、報告書を掲載する予定。
- ・大宮区区民会議のホームページがオープンしたとの連絡があり、リンクを貼った。

(区民会議だより14号について)

- ・区民会議だより第14号の計画を示す。
- ・10月～11月はイベントが多いので、これらの各種報告を掲載したい。

### (3) その他

委員：見沼区ふれあいフェアのブースで区民会議として何をやるか、調整した方がよいと思うが？

会長：必要なスペース、資器材を各部会からご提示いただきたい。

ネットワーク部長：掲示ボードを、最低3枚ご用意いただきたい。

生活安全部長：標語の最優秀作品4点の看板を掲示したい。同時に、啓発ティッシュも配付したい。

自然環境部長：見沼区のシンボルの紹介を行いたい。

- ・次回全体会で、当日の役割分担を行いたい。

## ■次回会議日程

---

○役員会：10月22日（水）18:30～に決定した。

○全体会：10月30日（木）18:30～に決定した。